

2020年9月1日



キリスト教センター 通信 Vol.13

激励メッセージリレー



タイトル

『倍返しとハッピーターン』

チャプレン 遠藤 洋介

ドラマ「半沢直樹」が面白い。このドラマの主人公、半沢直樹を演じる堺雅人という俳優さんは、これまでもドラマや映画などで色々な役を演じておられ、どの役もよくハマっており、魅力的です。

半沢直樹といえば「倍返しだ！」のセリフで一世を風靡しましたが、悪を断ち、しっかりと復讐を誓う姿が描かれています。しかも、倍にしてお返しをする。これにはハンムラビ王も驚いたのではないのでしょうか。しかし、半沢直樹に裁かれた人の中には、考え方を改めたり、回心したりと、好転していく人も少なくありません。半沢直樹のいう倍返しの中には、その人の今後の人生を思っただけで、少しでも良い方向にするためのお返しも含まれているのかもしれない。

お返しつながらで、亀田製菓のお菓子、ハッピーターンは日本が第一次オイルショックで不景気のどん底の時に、食べる人に幸せが返ってきますようにという願いが込められて名付けられたのだそうです。自分のハッピーを願うことも大切なことですが、もし誰かにお返しをする時が来たら、せっかくですから復讐や恨みではなく、幸せのお返し、ハッピーターンを心掛けたいものです。

キリスト教 一口メモ 「目には目を、歯には歯を」

小学生の時、社会の教科書で知った「ハンムラビ法典」。ご存じ、目には目を、歯には歯をという古代の法律です。一見、報復のための恐ろしい法律のように見えますが、過剰な厳罰を与えないための非常に公平性のある法律なのです。旧約聖書のレビ記という、当時のユダヤ教の法律が記されている書にもこのハンムラビ法典に似た法律があります。

しかし、イエス様は、法律にあるような仕返しをするのではなく

「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい」と教えています。

やられたからやり返すというのは、恨みや怒りを重ねるだけでなんの解決にもならないということです。グッとこらえて苦手な相手のためであっても祈ってみてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまのみ心になつた正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスの一日も早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまのみ名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者たちを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

豪雨災害の被災者のための祈り

天地の造り主である主よ、あなたは苦しみ悩みのうちにある人びとを支えてくださいます。どうか今、全国各地での豪雨災害によって苦難のうちにある人びとを顧み、ふたたび立ち上がる力をさずけてください。また、わたしたちもこの人びとの悩み苦しみを祈りのうちに覚え、その痛みを少しでも共に担うことができますように。苦しむ人と共に歩んでくださる、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

